

平成29年度  
千葉市健康づくり推進協議会  
第1回健康づくり施策の行動計画検討部会  
議 事 録

1 会議の名称

平成29年度千葉市健康づくり推進協議会  
第1回健康づくり施策の行動計画検討部会

2 開催日時

平成29年6月15日（木） 午後7時から午後8時10分

3 開催場所

千葉市美浜区幸町1-3-9  
千葉市総合保健医療センター1階 健康相談室3

4 出席者

(1) 委員

入江康文委員、金子充人委員、金親肇委員、坂口いく子委員、澤田いつ子委員、  
杉崎幸子委員

※ 欠席委員

渡邊茂委員

(2) 事務局

今泉雅子健康部長、森徹健康企画課長、阿部裕子健康支援課長  
南久志高齢障害福祉課長、古屋晴子花見川保健福祉センター健康課長、  
古山智和保健体育課長、三澤健康企画課主査

## 5 議題

- (1) 健康づくり施策の行動計画素案の取扱いについて
- (2) 今後のスケジュール
- (3) その他

## 6 会議経過

午後7時00分 開会

<三澤健康企画課主査>

大変お待たせいたしました。

定刻となりましたので、ただ今から、「平成29年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回健康づくり施策の行動計画検討部会」を開催させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます健康企画課の三澤でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本部会の開催につきましては、「千葉市健康づくり推進協議会設置条例」第7条第7項の規定により、委員及び臨時委員の半数以上の出席が必要でございます。

本日は、委員総数7人のうち、6人の委員にご出席いただいておりますので、部会は成立しております。

なお、千葉市情報公開条例の規定により、千葉市の審議会などの会議は原則公開となっておりますので、本部会につきましても、公開での開催とさせていただきます。

また、議事録につきましても、部会長の承認による確定後、インターネットなどで公開しますので、あらかじめお知らせいたします。

それでは、部会に入る前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

「次第」、「席次表」、「委員名簿」、「事務局名簿」、「資料1・千葉市健康づくり施策の行動計画素案の取扱いについて」、「別添1・委員意見まとめ」、「資料2・スケジュール」、「資料3・健康づくり施策の行動計画素案」でございます。

また、参考資料として「千葉市健康づくり推進協議会設置条例」、「千葉市健康づくり推進協議会検討体制」、「千葉市情報公開条例等（抜粋）」をお配りしております。資料については、以上でございますが、お手元の資料に過不足などはございませんでしょうか。

それでは、部会の開催に当たりまして、今泉健康部長より、ご挨拶を申し上げます。

<今泉健康部長>

健康部長の今泉でございます。

千葉市健康づくり推進協議会 第1回健康づくり施策の行動計画検討部会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃から、保健福祉行政をはじめ市政各般にわたりまして、多大なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、本日、委員の皆様には、昨年度作成した行動計画素案の取扱いに関して、審議を行っていただく予定でございます。

また、今年度は「健やか未来都市ちばプラン」の中間年に当たりまして、中間評価・見直しを行い、報告書として取りまとめることとなっております。その中間評価の状況につきましても、直近の数値が出揃いつつございますので、検討材料として一部ご紹介したいと考えております。

本日は、皆様から豊富な経験と専門的な見地から忌憚のないご意見をいただくことを切にお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

#### <三澤健康企画課主査>

続きまして、委員のご紹介についてですが、前回から変更等ございませんので、恐れ入りますがお手元の委員名簿にてご確認いただき、紹介は省略させていただきます。

なお、千葉市保健医療事業団 専務理事兼事務局長 渡邊委員につきましては、本日欠席との連絡をいただいております。

以上でございます。続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

さきほど、挨拶いたしました、

今泉 健康部長でございます。

次に、森 健康企画課長でございます。

次に、阿部 健康支援課長でございます。

次に、南 高齢福祉課長でございます。

次に、古屋 花見川保健福祉センター健康課長でございます。

次に、古山 保健体育課長でございます。

どうぞ、よろしくお願申し上げます。

それではただ今から、会議に移らせていただきます。入江部会長、金子副部会長、議事の進行をお願いいたします。

#### <入江部会長>

まず、一番目ですが、本日の議事録の署名人は、私ということでよろしいでしょうか。

<<異議無し>>

<入江部会長>

ありがとうございます。部会長の署名によることとさせていただきます。

それでは、議題の（１）、「行動計画の素案の取扱いについて」森健康企画課長より説明をお願いします。

<森健康企画課長>

健康企画課長 森でございます。座ってお話させていただきます。お手元の資料１「行動計画素案の取扱いについて」をご覧ください。

「１ これまでの経緯」といたしまして、（１）会議及び内容に、これまでに開催した会議とその内容について、簡単にまとめております。

まず、今年１月に健康づくり推進協議会を開催いたしまして、行動計画の策定趣旨をご説明させていただきました。また、科学的な分析として、疫学的な推計を行った結果、「禁煙」、「減塩」、「人の縁」の３点が、特に健康寿命の延伸効果が高いということをご説明しました。さらに、行動計画について検討していただくために、本部会を設置いたしました。

次にこれを受けまして、３月７日ですが１回目の部会を開催いたしました。その際には、行動計画素案の構成と、３つの柱「禁煙」、「減塩」、「人の縁」の詳細等についてご説明させていただき、皆さまから様々なご意見をいただいたところでございます。

次に、下の方の（２）各委員からのご意見といたしまして、１月の協議会及び３月の部会においていただいたご意見をまとめました。これにつきましては後ろの別添１「委員意見まとめ」をご覧ください。

こちらには、１８項目ほど出ささせていただいております。いくつかご紹介いたしますと、１番として「歯科も重要な要素であるが行動計画には歯科のことがまったく入っていない。」、「健康寿命の延伸には食事と運動が重要である。禁煙、減塩、人の縁のほかに、運動についても検討してほしい。」、「つながりについては、地縁、血縁、職縁など、さまざまな縁があり、退職などライフスタイルに合わせた縁の作り方を考えることが必要である。」といったご意見をいただいております。

また３つの柱につきましては、具体的な取組みということで１２番「喫煙については、受動喫煙防止対策等国の動きと合わせて取り組んでいくことが重要である。」、１３番「塩分は高血圧と明確な関係があるので、減塩は絶対条件」、１４番「食生活改善推進員の活動としては、減塩レシピの啓発を行っている。」、「だしをしっかりとることで減塩になる。また、乳製品も味がまろやかになり塩分を抑えられる。こういったことを市民にアピールすることが重要」等々、多くの意見をいただいております。

資料１に戻っていただきまして、裏面の「２ 健やか未来都市ちばプランの健康目標の中間評価について（抜粋）」をご覧ください。

ご承知のとおり、今年度は健やか未来都市ちばプランの中間年に当たるため、中間評価・見直しを実施いたします。そこで、昨年度から指標の中間値を把握するため、アンケート

調査等を行ってまいりました。

その結果が出揃いつつありますので、一部ご紹介いたします。ここでは、「健康寿命の指標」、現行の「重点項目」となっております4項目の指標5指標それと、行動計画素案の「3つの柱」関連指標について、中間値をお示ししています。

まず一番上の健康寿命の延伸につきましては、男性は健康寿命は延びている者の、平均寿命の方が延びていますので、平均寿命の伸びの方が高かった。女性の方は、健康寿命は若干の伸びでしたが、平均寿命との差が縮まっておりまして、平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加となっております。

次の重点項目1の「心肺蘇生法を知っている親の割合の増加」は、ベースラインが57.5%目標値が100%に対しまして中間値が66.2%となっておりまして、目標値には届きませんが、約10%程度増加しております。

次の重点項目2の身体活動量と肥満者の割合につきましては、申し訳ありませんが現在調査中でございます。

次の重点項目3の介護・支援を必要としない高齢者の割合につきましては、ベースラインが85%、目標が88%に対しまして、85.1%でほぼ横ばいです。

重点項目4のCOPDの認知度の向上につきましては、ベースライン27.7%に対しまして、目標値は80%中間値は25.6%でやや向上しております。

次に喫煙に関する指標としまして、成人の喫煙率ですが、ベースライン16.2%、目標値は12%に対しまして中間値は13.7%で改善しております。

減塩に関する指標としまして、食塩の摂取量がございましてベースライン11.1グラム、目標8グラムに対し、中間値11.1グラムでまったく横ばいという状況でございます。

人の縁に関する指標といたしまして、この1年間に地域活動等に参加したことがある人の割合は、ベースライン22.2%、目標値は35%に対しまして、中間値は23.2%でやや向上しているという状況になっております。

以上のとおり、既存の重点項目につきましても目標未達の指標がございまして。また、ここには記載していませんが、全体としてはプラン策定当初よりも悪化しているような指標もあることが分かってきております。

次に、「3 「健康づくり施策の行動計画素案」の取扱いについて」次のページをご覧ください。

委員の皆様のご意見と、今までご説明しました中間評価の状況を踏まえまして、「行動計画素案」の取扱いとしましては、次の2点を考えております。

まず1点目としまして、

・平成29年度に実施する「健やか未来都市ちばプラン中間評価・見直し」において活用し、「プラン見直し報告書」に、行動計画の要素を取り入れる。

2点目としまして

・「健康づくり施策の行動計画」は、健やか未来都市ちばプランと別個に作成・公表しない。

プランの中間評価・見直しの結果は、報告書としてまとめ、年度末に公表する予定でございます。そこで、プランやプランの見直し報告書と、行動計画とを別々に作成するのではなく、中間評価全体の結果を受けまして、一体的に検討したいというような趣旨でございます。

疫学的な推計によって明らかになった健康寿命延伸効果も考慮に入れながら、3つの柱に限定せず、今後力を入れるべき項目を検討して参りたいと考えております。

続いて、具体的な活用方法の案としましては、枠内の3点でございます。

- ①行動計画素案で示された「人生100年時代」という考え方や、「禁煙」「減塩」「人の縁」の3つの柱について、中間評価の結果と共に、「プラン見直し報告書」に盛り込む方向で活用する。なお、行動計画素案の分析結果等の成果は、報告書の資料編等に掲載する方向で検討する。
- ②行動計画素案の要素や疫学的な推計を、重点項目の見直し等の検討に用い、協議会での審議に活用する。
- ③行動計画素案の中で提案を受けている広報プラン（既存の啓発活動の効果をより高めるための戦略的な広報）や、具体的な取組みにつきましては、プランの中間評価・見直しの結果を受けて、改めて活用推進方法等を検討する。

行動計画素案の取扱いに関する説明は以上です。このことについて、皆さまからのご意見をいただければと存じます。よろしく申し上げます。

<入江部会長>

森課長さんありがとうございました。簡単でしたが、今説明がありましたがいかがでしょうか。

<金親委員>

健やか未来都市ちばプランの健康目標の中間値について、2ページのところ見ますと、減塩は難しいなあと感じます。なぜ難しいか私なりに考えてみると、この塩分というのは長い間日本人が続けてきた食生活の結果なんですよ。これを変えるというのは、COPDの認知度の向上みたいに講習会をすれば済むという問題ではないと思うんです。栄養士会の皆様方にのみ頑張ってもらっていたのではなかなかうまくいかないのではないかと。

どうしたらいいのかということ、我々だけでなくいろんな所が本気になって考えていかないと、この食塩摂取量に関しては難しいだろうと思います。例えば、今も食事をいた

だいたんですが、あの中に塩分がどのくらい入っているのか、私どもには感覚としてわからない。塩分を取らない方がいいということは当然わかるんですが、例えば「お昼にこんなものを食べるとこのくらい塩分をとるよ」とか、どのくらい入っているのかということ、もっと一般市民に向かって啓発活動がされるともう少しまくい気がします。

<入江部会長>

ありがとうございます。これに関しては、坂口委員さんと杉崎委員さんの出番でございます。お一人ずつ今の金親委員さんの意見に何かお願いいたします。

<杉崎委員>

杉崎でございます。おっしゃったとおりで、それこそ子供の時から蓄積された味覚は習慣になっているので、改善することは難しいですが、やはりご本人が「薄味にする」という決意が必要だと思います。

では薄味にするため、どういう工夫をしたらいいかというのは、食生活改善推進員さんも進めているでしょうけど、うまみを利用するとか酸味を利用するとかいろいろな方法があります。あとは、買ってきたお弁当にどれくらい塩分が入っているかも、今表示されていますし、レストランで食べるとなかなか表示は見られないですが、そういう栄養成分表示を見ていただくのも一つです。それから、これから暑くなって、食品が傷まないようにますます味付けをしっかりさせると、お砂糖が多くなり、それに比例して塩も増えてきます。

そういうことを広く啓発していくことが大事だと思うので、先ほどおっしゃったように、私たちの団体が頑張るだけでは難しいので、千葉市さんも心がけてくださっている成分表示をもっと見えるような形で、出してくださるといいと思います。例えば「そばつゆを、全部飲むと塩分何グラム、半分残すと何グラムになります」とか、お店の方はおいしいそばつゆだから全部飲んでほしいと提供していると思いますが、卓上メモのようなものをもっと少しお店ごとに出していくと、少し効果があるのではないかと思います。

あとは、病気にならないためには必要だということで、健康診断などでもアピールしていくことは一つ方法かだと思います。以上です。

<入江部会長>

ありがとうございます。では、坂口委員お願いします。

<坂口委員>

皆さん自分の家がどのくらいの塩分濃度であるか、なかなか分からないと思います。家庭の味が、うす味なのか、濃い味つけなのかを知るということも必要だと思います。

また、薄味でもおいしくいただけるということをお勉強していただくことも大切だと思います。

ます。市販の加工品もけっこう塩分が多いので、食べてはいけないとは言いませんが、回数を減らすようにすると思います。

食生活改善推進員の活動でも、講習会に、参加者自身のお味噌汁を持参し、塩分調査を行っています。家庭の味がどのくらいの塩分濃度かを知ることが大事だと思います。

<入江部会長>

こういう話ですので、健康部長さん、できれば、市政だよりも定期的に毎号は出せないと思いますが一定の紙面を確保して、健康記事というのかな、献立の例でもいいし、時々市政だよりも載せてもらおうといいのではないのでしょうか。

私の専門の腎臓内科では、日常的に血圧の高い患者に対して感じるものが少しあって、おふくろの味が伝わっているような、家庭が多い。こどもの離乳食の時に親が与えたものが頭に刷り込まれているような感じの方が結構いて、一族全部血圧が高いという感じなので、どこかで断ち切っていくとずっと続くことになる。

そういう意味で言うと小学校の給食で、今日の塩分は何グラムと言ってもらえると、相当な効果があるかもしれない。両委員さんぜひよろしくお願いします。

<今泉健康部長>

ありがとうございます。参考にさせていただきながら、地道に長く続けられる方法を考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

<入江部会長>

ほかに、この件に関してご質問、ご意見はございますか。

たばこは意外と進んでいるんですね。喫煙率はかなり下がっている。それからCOPDもかなり認知されている。金子副部会長さん何かありますか。

<金子副部会長>

夏になると、やはり煮物なんかは腐るというのもあるので、食べていて塩気が増すというのはあると思うし、夏になると塩分が上がるというのは感じます。海の方に行くと、塩分高くしないと味が感じられないので、地方によっては塩分が上がるというのは仕方がないという気がする。

<入江部会長>

澤田委員さん何かありますか。

<澤田委員>

資料1の2ページの一番下の「人の縁」について。ボランティア活動に参加したことが

ある人の割合の母数は65歳以上の方が対象でしょうか。働いている方はボランティア活動の時間の確保が難しいと考えますが、除外されているのでしょうか。また、この目標値の35%はどのような計算式でこの数字を挙げられているのでしょうか。

<入江部会長>

では森課長さんお願いします。

<森健康企画課長>

担当から詳しくご説明させていただきます。

<三澤健康企画課主査>

ご質問ありがとうございます。こちらの指標の母数は年齢の制限をしていない市民の無作為抽出でアンケートを行いまして、取ったパーセンテージですので、働いている方も含めた結果です。

もう一点35%の根拠ですが、これは国の目標とも若干違いまして、千葉市の市民局の方でこういった目標を設定していまして、その指標を借りてきています。

<澤田委員>

ありがとうございます。これからの人生を送っていく上で、人の縁は非常に重要だと思います。現状値に近い数字を押さえられたらよいのではないかと思いましたが、質問いたしました。

<森健康企画課長>

澤田委員さんがおっしゃられるように、いろいろな方がいると思います。実際ご高齢でも働いている方はいらっしゃいますので、こういった数値を出すに当たっての考え方については、そういったことを含んでいるということで、整理させていただきければと思います。

<入江部会長>

このアンケートの結果をもう一回分析しなおす、ということもあるんですかね。アンケートの中に仕事をしているかとか、そういう設問は入っているんですか。もし入っていればもう一度見直すとか、後で考えてみてください。

<森健康企画課長>

確認します。

<入江部会長>

他にご意見ございますか。はい、金親委員さん。

<金親委員>

今日は保健体育の先生がいらっしゃるの、ちょっとお伺いしたいのですが、人の縁に関係して、以前は小学校の校庭を開放して、親たちが子供たちの休日の運動をお手伝いしたり、校庭が安全に使われるように近所の親たちが見守ったりして、私もその指導員をしていたことがあるんですが、最近その活動がされていないように思うのですが、校庭解放というのは今やっていないのでしょうか。

<古山保健体育課長>

所管が違うので、正確なことは言えないのですが、学校ごとに校庭開放委員会というのがございまして、そこで平日の放課後、土曜日曜にどういう団体が使うかということは調整しながら決めています。ですから、一律に使わなくなっているという方向ではないと思います。

<金親委員>

学校の安全対策のために開放しないという方向になっているのかと心配したのですが、休日にきちっと依頼して地域の人に管理してもらう、それと学校の整備と言いますか汚れているところを地域の人にきれいにしてもらおうということを進めていったならば、地域活動の一つとしては非常に効果があるのではないかと思います。というのは、自分が指導員をしていた時の経験から申し上げました。

<入江部会長>

私が感じているのも、家の近くの小学校や公園なんかボール遊びは禁止だし、走っちゃいけないし、大きな声を出してはいけない、クレームをつける人がいるから。こどもにそっと歩けと言うものじゃない。嫌な時代になっていますね。子供の声が出て楽しいと思ってくれればいいけれども、やかましいと思う。この辺も保健体育課長さんぜひ改善してください。

<金子副部会長>

人の縁について、ボランティア活動とか地域活動をよくする人と一緒に歯のいい人を調べると、歯のいい人が活動が活発だということは、もうアンケートでわかっています。歯のない人はなんとなく引きこもりがちになるという結果は、統計が取っておりますので、必要なら、そういうのも参考にしてもらえればと思います。

<入江部会長>

長生きしたければ歯を残そうと、そういうキャンペーンをしてもらえばいいのではないかと思います。確かにそういうことはあると思いますね。例の誤嚥性肺炎のこともありますので、非常に大事だと思います。

他にありますか。もし後から思い出して、なにか言いたいことがありましたら、後で森課長さんまでお願いします。

ご意見がなければ、次に、議題の(2)、「今後のスケジュール」について事務局より説明をお願いします。

<森健康企画課長>

それでは今後のスケジュールについて説明いたします。お手元の資料2「今後のスケジュール」の方をご覧ください。

今後の進め方につきましては、行動計画素案の要素を取り入れた、プラン中間評価・見直し報告書の原案を作成し、そちらに対して健康づくり推進協議会においてご審議を行っていただく予定でございます。

具体的なスケジュールといたしましては、7月頃に千葉市健康づくり推進協議会を開催しまして、議題として健康づくり施策の行動計画、今回の件について報告させていただき、また、中間評価の進捗状況についてもまとまってくると思いますので、報告させていただく予定でございます。

8月末くらいをめどに、中間評価見直し報告書の素案を作成し、10月くらいに庁内の組織ですが、健やか未来都市ちばプラン推進本部幹事会と推進本部それぞれで内容を揉みまして、内容を調整させていただき、11月に再度、千葉市健康づくり推進協議会の方で原案について諮らせていただきたいと思いますと考えております。こちらの方で修正意見等ございましたら修正の上、12月にパブリックコメント、年度末3月に中間評価・見直し報告書として公表させていただく予定です。説明は以上です。

<入江部会長>

確認させていただきますが、7月頃、これは委員の出席は必要になりますか。

<森健康企画課長>

はい、出席必要になります。

<入江部会長>

全体会議ですね。8月、10月については市の内部。で11月にまた全体会議。12月

のパブリックコメントは市でやっていただいて、3月はどうですか。

<森健康企画課長>

これは特にお集まりいただくということではなく、公表ということでございます。パブリックコメントでいただいた意見について修正したものは、皆さんに送付させていただくなどご報告いたします。

<入江部会長>

皆さん7月頃と11月に協議会があるということですから、特に7月の方は日程が決まり次第教えてください。お願いいたします。これについては、ご質問等がございますか。

最後に、議題の(3)、「その他」ですが各委員及び事務局から何かございますか。

<森健康企画課長>

先程、「議題2 今後のスケジュール」でお話ししたとおり、今後、行動計画素案については、プランの見直しの中で、健康づくり推進協議会においてご審議を行っていただくこととなります。

したがって、本部会については、今回で最後とさせていただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

<入江部会長>

議題の3についてはご意見ないようですので、先ほどお話ししましたとおり、できましたら市政だよりの活用をぜひお願いします。市民の健康寿命を延ばしていこうという重大な話ですので、ぜひ紙面を確保していただいて、杉崎委員さん、坂口委員さん、澤田委員さんに何か書いていただいて、こういう時に自分を抜かすのは得意なんです。よろしくお願いします。

<三澤健康企画課主査>

入江部会長、金子副部会長、ありがとうございます。また、委員の皆さまには長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございます。

それでは、本日の会議は、これをもちまして、終了とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。